



# MANAGEMENT SQUARE

マネジメントスクエア

3

2026  
No.433

[千葉県の交通]

## —東京湾アクアライン 〈東京湾横断道路〉

[企業最前線]

株式会社 江戸川バルブ・プロテクション

[CRIフォーカス]

スタンドバイ 株式会社

[チャレンジャー]

琴勝峰 [佐渡ヶ嶽部屋所属・犬相撲力士]

# バルブ装置の安全安定操業を提供し 化学産業を支える

## 株式会社 江戸川バルブ・プロテクション



「高圧ガス認定品」の成績書が添付されたバルブ。24インチの大型バルブにも対応が可能だ

独自の技術力とノウハウを駆使した事業展開で躍進を続ける(株)江戸川バルブ・プロテクション。京葉臨海コンビナートを中心とした製油所・石油化学プラントの「24時間365日正常稼働」に不可欠な役割を果たしている。その顧客からの信頼とニーズに合わせた技術力について鈴木社長に伺った。

### バルブのメンテナンスと販売を事業の柱に成長

石油化学工業は石油や天然ガスを原料として、合成樹脂、合成繊維原料、合成ゴム、合成洗剤など、現代の産業や人々の生活に欠かすことのできない多種多様な化学製品を製造する重要な役割を担っている。

その製品を生み出す石油化学プラントにおいて欠かせないキーパーツが「バルブ」である。バルブは流体の流れを制御する遮断、圧力調節、逆流防止など広範多岐にわたる役割があり、石油やガスの安全で効率的な運用を確保し、24時間正常な稼働を支えている。

1967年に袖ヶ浦市に設立された(株)江戸川バルブ・プロテクションは、半世紀以上にわたって製油所・石油化学プラントにおけるバルブのメンテナンス・販売事業を柱に成長を続けている。

同社は、バルブの種類にかかわらずメンテナンス全般を請け負っており、大規模な定期修繕工事から小規模な日常工事、突然の不具合による突発工事まで、すべてに対応することが可能だ。

豊富なメンテナンス実績により、新品・既設を問わず、バルブの駆動部転用や改造、仕様変更、機械

加工品の製作においても細かなカスタマイズが可能であり、設計図がない場合も徹底的に調査を行うため一定の品質を担保できるのも同社ならではの特徴である。また、その実績からメーカーからの信頼も厚く、展示会用の1点ものバルブや試作品の製作の依頼も舞い込む。

販売面においては、種類・サイズ共に豊富な在庫品を保有し、なかでもJPI(注1)規格の鍛鋼・鋳鋼バルブの在庫数は国内最大級の規模を誇る。また、「高圧ガス認定品(注2)」を含むさまざまな製品を取り扱っており、日本全国のユーザーからの幅広いニーズに対応する。この在庫の豊富さもまた、同社の特徴であり他社にはまねできない強みの1つである。プラントの突発的故障にも即対応ができるように、「在庫を持つリスク」を取ったと語る鈴木社長。「当社は長年にわたって培ってきた技術力とノウハウを駆使して、同業他社にはできない独自のサービスでお客さ



鈴木慶太 代表取締役社長

まのニーズに添えています。発注からバルブの準備などで通常1か月かかるような修繕作業も、当社では自社内で完結できるため最短4日で完了することも可能です。また、24インチサイズの大型バルブが故障した場合、1から製作するとなると1年はかかります。エネルギーインフラである製油所を1年も停止させるわけにはいきません。在庫量と加工の技術力を持つことは、必然だと考えています。緊急対応を行ったことで、お客さまから感謝状をいただいたこともあります」

### 「苦手を得意に」を理念に人材の活躍と成長を支援

この「短納期」の実現に大きく寄与しているのが、新たな人材の配置と設計・機械加工部門の新設である。3次元設計用のソフトウェアを用いた3DCADによるクォリティの高い設計・作図を担える人材を採用し、マシンングセンターを導入。複数の切削加工をコンピュータ制御する多機能工作機械として、プログラムに従って24時間

自動で行える体制を構築した。

加えて、3Dプリンターの活用もスピード感のある提案力につながっている。例えば、配管やバルブから流体漏れが起こった場合、金属製治具を使用した処置を行う。その際に、同社では金属製治具を製作する前に、まず3Dプリンターによる樹脂サンプル品を製作し、顧客に提示する。そして、実際の現場でフィッティング感を試すことで素早い仕様変更が可能となり、結果、流体漏洩による経済損失を防いでいる。

さらに、社内のDX化の推進にも注力。スケジュール管理や整備報告書類を一元化し、整備日程調整や整備時の不具合報告をより迅速かつ効率的に行うことを可能に



各種メーカーの製品に対応するため、必要な部材をストックしている



設計・機械加工部門の強化を目的にマシンングセンタを導入

「人それぞれ得意なこと、苦手なことはあるので、お互いの仕事を理解し、尊重していくことが大切だと考えています。得意な業務がある者が率先してフォローし、教えていく風土を育てています。個々の成長の機会や可能性を伸ばしていくことも、会社として重要な務めであると捉えています」

福利厚生面においても、お互いの理解・尊重を育むためのコミュニケーションの場を用意してバックアップする。ゴルフコンペや釣り大会、バーベキュー、社員旅行(国内・節目の期には海外)など、レクリエーション活動の充実度を高めることに力を入れている。

一方、健康経営の面では、本社に「リフレッシュルーム」を設置。空調服の提供や飲料水を自由に手に取れる環境など、近年の異常ともいえる夏の暑さ対策にも余念がない。「人生100年時代

### 来たる100周年へ

#### 次代を意識した経営に尽力

鈴木社長は同社の今後のビジョンとして、次のような展望を明らかにしている。

「業界全体が人手不足で採用が難しいなかで、当社もロボットの導入・活用など省人化が求められる時代が到来しています。ただ、すべてを機械に任せるとはならず、最終的には人間の力が必要だと考えています。今以上に社員一人ひとりが自ら考え、アイデアを出して、経営者的な感覚を身につけていけば、さらに強い会社になります。それを目指して、社員教育に力を入れています」

鈴木社長の視線の先は次なる経営者を見据え、期待を寄せる。「創業から60年が経過しましたが、今後20年、30年と生き残り、100周年を目指していくなかで、その時に社長を務める人材にしっかりとバトンを渡していくためにも、今から進化と成長の基盤をつくって

いくことが大切な使命と受け止め、経営に邁進していきます」

その言葉を裏付けるように、2025年11月25日、同社とバルブメーカー最大手キッツグループのアフターサービス事業を担う中核企業(株)キッツエンジニアリングサービスとの業務提携が発表され、大きな話題を呼んだ。それぞれの特徴を活かした提携によって、今後両社の融合がどのような化学反応を見せるか、大いに注目される。鈴木社長が日頃から強調する「メーカーに近いメンテナンス会社」として、同社はこれからも顧客への迅速な対応、人材育成の強化、技術力の研鑽に尽力し、プラントの安全安定操業を通じて、日本の化学産業の発展と人々の豊かな暮らしを支えていく。

### Corporate Profile

設立者 1967年 鈴木慶太  
所在地 袖ヶ浦市神納4176-12  
資本金 1,000万円  
従業員数 22人  
事業内容 製油所や石油化学プラントに向けたバルブの販売、メンテナンス、設計・機械加工など



(千葉銀行取引店 袖ヶ浦支店)

(注1) The Japan Petroleum Institute : 公益社団法人石油学会。

(注2) 経済産業大臣が認定した試験機関による試験に合格し、その成績書が添付されたバルブ。